

興正寺の七ヶ月参り

ななつき

無病息災で長患いせずに暮らせますように…
人生を見守り、求願に応える仏さま「大随求明王」に願う

興正寺の「七ヶ月参り」は、古くから親しまれています。この大随求明王を月に一度づつ、毎月お参りし、七か月お参り(※1)いただくと言われ、七か月で満願となります。(※2)満願になりますと、ありがたい「お血脈」と次の月からの参拝証札の授与、五日・十三日のご縁日にて大随求明王さまの御宝前にて芳名を読み上げし、ご祈祷させていただきます。

※1「七」は願いの成就する吉祥の数と言われています。

※2 結願とも言い、日数を定めて仏に祈願し、その日数が満ちる最終日を表します。

大随求明王とは

『西山本堂に鎮座されています』(文政六年彫刻祭祀1823年)
興正寺の西山本堂には「大随求明王」という仏さまがおわします。この仏さまは「ぼっくりさん」の愛称で信仰されており、

この「ぼっくりさん」のお参りを続けていると、年齢を重ねても下の世話にもならずぼっくり安楽往生できる」という御利益があると言われて親しまれています。



ご真言

おんばらばら さんばら さんばら いんじりや
びしゅだに うんうん ろろしゃれい そわか

お血脈とは

『仏さまとご縁を結んだ証』

お血脈には、大随求明王のお経「大随求陀羅尼經」が書かれており、これを授与されることにより大随求明王と血の脈、すなわち、血縁が結ばれた証となります。

このお血脈は、ご自宅で不浄でない所(仏壇の中や机の引出しの中など)に保管してください。自身が亡くなった時には、棺の中に納めていただくよう、周りの親族にお伝えください。今生で積んだ徳により極楽浄土へ旅立つことができる」と伝えられております。

また、このお血脈は、自分以外の、冥土に向かわれる方の棺の中に供えていただく事もできます。これにより、亡くなった方も極楽浄土に旅立て、自身も徳を積むことができますと言われております。



参拝の仕方

《一巡目》

- ・月に一度お参りし、納経所で参拝印を受けます。
- ・参拝を七回繰り返します。
- ・参拝印が揃い、満願になりましたら、お血脈と次の参拝証札をお渡しします。

※二巡目以降も同じです。
※七巡目まで満願された方には輪袈裟を授与いたします。

◆参拝印 布施1回100円

(満願時、別途お膳料500円をお納めいただきます)

※この参拝印は、梵字の句読点を印象化したもので「確かに参拝が終了した」との仏の認印です。

輪袈裟の

授与について

七ヶ月参りを七巡(都合49か月)満願すると輪袈裟を授与いたします。

輪袈裟とは、僧侶が身に着ける袈裟と同じものです。お参りの際には正装となる輪袈裟を着用してお参りすることを勧め申し上げます。



※写真はイメージです

長く続けてお参りすることで、

より深い仏縁を結び、

元気で長生きすることを願いましょう



八事山 興正寺

〈七ヶ月参り参拝証札〉

